

## 横田豊秋氏が黄綬褒章を受章

—「平成30年秋の褒章」—

11月14日、平成30年秋の褒章伝達式が厚生労働省で開催され、当工業会会員企業である三菱重工業(株)の横田豊秋(よこた とよあき)氏に黄綬褒章が鈴木俊彦 厚生労働事務次官より伝達された。その後、皇居にてご夫人同伴で天皇陛下に拝謁した。この素晴らしい栄誉をたたえるとともに、ここにご紹介できることを嬉しく思う。

黄綬褒章は、「農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方」に授与される褒章であり、当工業会からは13人目の受章者である。

横田氏は現在64歳で、昭和48年 三菱重工業(株)長崎造船所に入社し、昭和61年からは現在の名古屋航空宇宙システム製作所、および

名古屋誘導推進システム製作所にて、長期にわたり宇宙・航空機用電子機器組立て業務に携わり、昨年、プリント基板組立てにおける優れたはんだ付け技能に対して「平成29年度卓越した技能者“電子機器部品製造工”部門」で厚生労働大臣表彰が授与された。そして、現在も範師の職にある。

横田氏の功績等の詳細は、一年前の「航空と宇宙」(2017年12月号)に掲載しているのでご覧いただきたい。

今後ますますのご活躍、そして卓越した技能と豊富な経験が多くの後進に伝授され、日本の航空宇宙産業の発展に寄与することを期待する。



黄綬褒章と賞状を前にした横田氏



横田氏 プリント基板組立てにおけるはんだ付け作業

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 広報部長 高木 伸吾〕